

## 新型コロナウイルスの感染拡大防止に御協力をお願いします

- ・手洗い・うがいを励行しましょう
- ・密閉、密集、密接の3つの密を避けましょう
- ・感染リスクの高い地域への移動を避けましょう

# はままつ 市議会だより

第187号

令和3年5月5日

身近な市議会を目指して



つりがね  
「釣鐘時計」江戸時代

国立科学博物館所蔵

～浜松市美術館「遠州の民藝展」より～

## もくじ contents

◎ 2月定例会のあらまし	P2
◎ 行政区再編に関する協議の経過	P4
◎ 常任委員会の状況	P5
◎ 代表質問	P7
◎ 一般質問	P8
◎ 特別委員会の活動状況	P11

市議会のくわしい情報、会議の映像は  
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



2月  
定例会

## 3年度予算 総額6434億円を可決

デュアルモード社会構築に向けデジタル化推進や企業支援に重点

2月定例会は、2月19日から3月24日までの34日間にわたって開催しました。

### ◎補正予算などを可決

2月22日の本会議では、19日に上程し、環境経済委員会で審査した早期議決が必要な2年度一般会計補正予算の採決に当たり、1議員から反対討論があり、採決した結果、原案のとおり可決しました。

また、3月1日の本会議では、2月19日に上程し、各常任委員会で審査した2年度関係議案27件の採決に当たり、1議員から一般会計補正予算に対する反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。



3年度施政方針を表明する鈴木市長

### ◎市長が施政方針を表明

3月1日の本会議では、3年度関係議案の上程の後、市長から施政方針の表明がありました。その中で、ウィズコロナの時代には感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るデュアルモード（二重の様式を持つ）社会の構築が必要となり、デジタル化の推進や、デュアルモードを生かした施策を積極的かつ着実に進め、活力に満ちた浜松の未来を創造していくとの決意が述べられました。

### ◎代表・一般質問に10議員

3月10日の本会議では、3会派が代表質問を、11日及び12日の本会議では、7人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをいただきました。

### ◎3年度関係議案を可決

3月24日の本会議では、12日に追加上程した議案を含めた3年度関係議案39件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から3年度一般会計予算など13議案に対する反対討論、1議員から3年度一般会計予算に対する賛成討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、副市長選任など人事案件5件に同意したほか、議会提出議案として、議員の出産に伴う会議の欠席期間の範囲などを規定する会議規則の一部改正及び意見書5件を可決しました。

〔3月〕										〔2月〕					
30日	24日	23日	19日	16日	15日	12日	11日	10日	9日	1日	26日	22日	19日	12日	
制度調査特別委員会	行財政改革・大都市	採決・2月定例会閉会	本会議（3年度関係議案	議会運営委員会	制度調査特別委員会	行財政改革・大都市	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	本会議（2年度関係議	案採決・3年度関係議	案上程・施政方針	議会運営委員会	本会議（2月定例会閉会・	2年度関係議案上程）
												環境経済委員会	各常任委員会	本会議	
												議会運営委員会	行財政改革・大都市	制度調査特別委員会	

議会活動の経過

## 可決した主な議案

**3年度一般会計予算 総額3501億円**

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種の実施体制の整備 30億9432万円
- ◆ビーチ・マリンスポーツ推進のため、国際大会が可能なコート設計などの環境整備と情報発信やイベントの開催 6314万円
- ◆協働センターなどの会議室へWi-Fiルーターを整備 310万円



江之島地区に整備予定のビーチコート計画イメージ図



消防団庁舎と放課後児童会の複合施設イメージ図  
(北浜小学校隣接地)

- ◆市外からの移住者に対して住宅取得や移転にかかる経費を助成 6500万円
- ◆小・中学校の児童・生徒へのタブレット型端末の整備及びICT支援員の配置と校舎外で使用するモバイルルーターの検証導入 12億5473万円
- ◆放課後児童会拡充のための施設整備と既存施設の改修 5億1187万円
- ◆インターネット上に開設したオンラインアンテナショップの運営やキャンペーンの実施 1億454万円

- ※1
- ◆スタートアップ企業の育成支援や拠点居住、ワーケーションの拠点整備などベンチャー企業誘致のための環境整備 5億3398万円
- ◆天竜材を使用して非住宅建築物などを木造・木質化する経費を助成 2500万円
- ◆公用車への電気自動車導入と充電用コンセントの設置 2897万円  
など



新川モール整備後イメージ図

### 学校給食の公会計化に伴う条例整備

- ・学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定  
4年度からの学校給食費公会計化へ向けて、教職員の負担軽減や学校給食の安定的な実施につなげる仕組みを整えます。

### 新川モールの条例整備

- ・新川モール条例の制定  
利用時間や利用料など必要な事項を定め、新川モールをイベントや物産展開催などの利活用が可能な憩いの場所として整備します。

## 可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆持続的な汚水処理システム構築における国の支援を求める意見書
- ◆新型コロナウイルス感染症の影響による自殺防止対策を講じる地方公共団体へのさらなる支援を求める意見書
- ◆2050年二酸化炭素実質排出ゼロに向けた地方公共団体への財政措置等を求める意見書
- ◆デジタル手続法に基づくマイナンバーカード普及に向けた基盤整備等を求める意見書
- ◆地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書

## 行政区再編に関する 協議の経過

協議の経過はこちらから







区制度協議の経過

検索



行政区の再編については、行財政改革・大都市制度調査特別委員会において協議を進めています。

令和3年2月・3月の協議では、各会派から出された13案の中から区割り案のたたき台として2区案から4区案まで、それぞれ2つの案の計6案を決定しました。

2区案	3区案	4区案
		
		

この6案は、再編後における最適な区の在り方を考える上での議論のたたき台として選択したものであり、今後はこの2区から4区までの案を基に、住民サービスや住民自治のあり方を検討し、区割り案の一本化に向けて協議していきます。

市議会では、市民の皆さんに分かりやすいように、丁寧な議論をスピード感を持って進めていきます

### たたき台決定の経緯説明を実施しました

区割り案のたたき台が決定したことから、4月に開催された各区協議会及び各区自治会連合会に特別委員会委員長などが出向き、たたき台の選定の理由など、決定に至った経緯を説明しました。



西区自治会連合会

# 常任委員会の状況

3月15日、16日に開催した各委員会での審査の概要です

## 総務委員会

## 厚生保健委員会

### ●協働センター等Wi-Fi整備事業について

#### 〔当局説明〕 協働センターなどの会議室で利用者がオンラインによる会議や講座を開催できるように、各館の1部屋にWi-Fiを整備するものである。

**質疑** 利用料は徴収するのか。

**答弁** 今回はモデル的にWi-Fiを整備することから、3年度は利用料を徴収しない方向で検討を進めている。

**●設計書情報提供システム構築事業について**  
**〔当局説明〕** 金入り設計書の情報公開に係る事務手続を自動化するシステムの構築により、事務処理時間を削減し、市民サービスの向上と職員の負担軽減を図る

ものである。

**質疑** 削減した時間をどのように活用するのか。

**答弁** 職場内での技術伝承や、現場研修会への参加など、技術職員の技術力向上のために活用していく。

### ●公共建築物長寿命化推進事業について

**質疑** 公共建築物長寿命化計画の進捗率は。

**答弁** 2年度末の時点で、屋根・外壁などの小規模改修工事では計画値43%に対して進捗率66%、空調・受変電などの設備改修では計画値43%に対して進捗率28%、大規模改修工事では計画値45%に対して進捗率12%である。全体の平均では計画値43%に対して進捗率は

35%程度と見込んでいる。大規模改修工事の進捗率が低い状況ではあるが、全体としては順調に推移していると考えている。

### ●包括外部監査契約締結について

**質疑** これまで包括外部監査人が3年で交代している理由は。

**答弁** 地方自治法では3年を超えて包括外部監査人を選任できない規定がある。また、専門性や外部性を持ち、本市の行財政事情に精通した包括外部監査人を選任したいという意向のほか、3年間で本市の行財政運営への理解が深まり、よりよい外部監査が実施されるという考えによるものである。

### ●SNSを活用した若者相談支援事業について

**質疑** 実施日を2年度の60日から約20日間増やす理由は。

**答弁** ニーズが高まっていることから、相談の引継ぎ先である若者相談支援窓口「わかば」の対応可能な件数を考慮して増やしたものであり、今後も継続して増やしていきたい。

### ●新型コロナウイルスワクチン接種事業について

**質疑** 外国籍の市民への対応は。

**答弁** 住民登録がある外国籍の市民は接種対象となり、国籍を問わず年齢に応じて順次、接種券を送付する。なお、接種券送付の際、封筒に英語やポルトガ

ル語による案内を掲載するほか、外国籍の市民向けの案内サイトにつながるQRコードを記載して配慮していきたい。

### ●集団接種会場において、ワクチン接種後の副反応によって体調不良となる人が生じた場合の対応は。

**答弁** 特に重篤な副反応であるアナフィラキシーについては、発症時にアドレナリンを適切に注射することで回復することから、必要な医薬品などを会場に常備する。また、接種前の問診時に、アレルギーや過去のワクチン接種時の反応について確認した上で、接種後に最大30分間の医師による健康観察を実施す

ることとしている。

**●病院事業の設置等に関する条例の一部改正について**  
**質疑** 20床ある佐久間病院の療養病床を廃止することだが、廃止後のスペースの利用方法は。

**答弁** 一般病床の入院患者用の処置室、リハビリテーション室及び相談室に転用し、入院環境を充実させる予定である。



ワクチン接種のシミュレーション

# 環境経済委員会

●グローバルものづくり企業連携事業について  
**【当局説明】**最先端の技術力を持ち、スタートアップ先進国と言われるイスラエルにミッション団を派遣し、本市のものづくり企業とのビジネスマッチングにつなげるものである。

**【質疑】**ミッション団の構成メンバーや派遣の時期は。

**【答弁】**メンバーは現在検討中だが、多くても20人程度を想定している。多くの企業から参加希望があることから、団長の人選を含めて今後精査して決定する。新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、3年度後半に実施する見込みである。

●小型自動車競走場新企画レース開催事業について  
**【当局説明】** 他の公営競

技の開催が少ない午前9時または9時30分を想定しており、一部通勤時間に重なる可能性もあるが、開門より何時間も早く来る利用客は見られないため、問題ないと考えている。

**【質疑】**来場者が通勤時間帯と重なり、交通渋滞を引き起こすことはないか。

**【答弁】**開門時間は午前9時または9時30分を想定しており、一部通勤時間に重なる可能性もあるが、開門より何時間も早く来る利用客は見られないため、問題ないと考えている。



浜松オートレース場

# 建設消防委員会

●土木防災情報システム機器更新事業について  
**【質疑】**災害対策用パソコンの配備先を5拠点から11拠点に増やすとのことだが、新たな配備先は。

**【答弁】**従来は本庁と4か所の土木整備事務所

に配備されていたが、区役所及び協働センターに所在する土木グループ6拠点を追加することのメリットは。

**【答弁】**河川監視カメラの映像をリアルタイムで確認でき、より迅速な災害対応が可能になる。

●浜北第3分団庁舎・北浜小学校放課後児童会

の複合施設建設事業について  
**【質疑】**分団庁舎に隣接する道路の交通規制への対応は。

**【答弁】**敷地北側の道路

は通学路であり、平日朝7時から8時まで歩行者専用道路となることから、警察と調整し、通行許可を取るなど出動に支障のないようにしていきたい。

**【質疑】**出動・帰庁時の安全をどのように確保するのか。

**【答弁】**道路は幅員4.7メートルと狭いことから、安全確保を担当する団員の配置を考えている。

●市有財産の無償譲渡について（万斛庄屋公園建屋）  
**【質疑】**母屋の改修について譲渡先からの提案内容は。

**【答弁】**安全・安心に使える建物にすることを第一と考え、建物を軽くする必要がありますことから、2階を取り除き、平屋建てだった頃の外觀に復元する提案を受けている。

●ハマライフ住宅取得費等助成事業について  
**【質疑】**市外からの移住者の住宅取得に係る補助金を創設するとのことだが、その経緯は。

**【答弁】**移住相談の中で、住宅に関する内容が増えてきたことや、周辺都市で同様の補助制度が整備され、移住者が他都市へ流れる可能性を考慮したものである。

●中央図書館大規模改修事業について  
**【質疑】**再開まで1年以上休館するが、持ち出し禁止資料の閲覧の取扱いは。

**【答弁】**持ち出し禁止資料のうち、郷土資料室に配架されているものは、事前予約の上、臨時事務所での閲覧を検討している。

**【質疑】**改修に当たり、知の拠点としての機能を充実させるとのことだが、具体的な内容は。

**【答弁】**郷土資料室と参考図書室を一体化させ、調査・相談業務の効率化を図るほか、子育て世代にも過ごしやすい空間にすることを検討している。

**【当局説明】**天竜区水窪町の情報が得られるウェブサイトに誘導するQRコードを印刷した小包用段ボール箱を町内の住民に配付し、町内から出て暮らす家族へ特産品などを送る際に活用願うものである。

**【質疑】**事業の狙いは。

**【答弁】**ウェブサイトを通して水窪町出身者などと地域情報を共有した上で、イベントなどの地域活動への応援を募集してつながりを築き、持続可能な地域づくりを図るものである。

だ、具体的な内容は。  
**【答弁】**郷土資料室と参考図書室を一体化させ、調査・相談業務の効率化を図るほか、子育て世代にも過ごしやすい空間にすることを検討している。  
●**【質疑】**いつかもないか事業について  
**【当局説明】**天竜区水窪町の情報が得られるウェブサイトに誘導するQRコードを印刷した小包用段ボール箱を町内の住民に配付し、町内から出て暮らす家族へ特産品などを送る際に活用願うものである。

# 代表質問

3月10日には、会派を代表して3人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松  
戸田 誠

区再編に向け遠隔でも温かみあるサービスを

**質問** 行政区の再編に

当たり、今後のオンラインでの手続をどう進める考えか。また、相談業務などに仮想空間の技術を活用して対応する考えはあるか。

**答弁** 連絡ごみ収集や

乳幼児相談の予約受付などの手続は、先行モデルとしてオンライン化している。今後もオンライン化を進めつつ、対応が難しい場合には、テレビ会議システムで協働センターと区役所や本庁をつなぐ方法や、相談対応できる職員を把握するツールを活用した効率的な対応など

を検討し、引き続き対応で対応していく。  
また、近年、仮想現実などの先端技術が急速に進展していることから、市民の相談対応において、遠隔でも心理的に安心して利用できる最適な手法を研究していく。

**その他の質問**

- ① 施政方針にあるデュアルモード推進とは
- ② ワクチン接種に向けた課題と対策は
- ③ 津波防災意識の継続に向けた啓発を



完成した防潮堤



市民クラブ  
平間 良明

デジタル技術の活用で市民サービス向上を

**質問** 行政区再編の議論では、区役所が遠く

なることを懸念する声もあるが、デジタル化の進展により市民サービスの向上も見込まれている。そこで、本市の手続案内サービスの取組状況はどうか。

**答弁** SNSやホームページなど、多様な媒体でサービスを提供できるオープンデータプラットフォームが3年度末に完成予定であるが、先行して市の公式LINE「しゃんべえ情報局」で、住民票などの手続に関する質問にチャットボットが会

話形式で応答するサービスを開始しており、応答数は1日1200件程度となっている。  
また、音声で操作できるAIスピーカーは年齢を問わず利用しやすいことから、3月末までにアレクサでのサービスを開始していく。

**その他の質問**

- ① 光ファイバーの整備エリアと提供時期は
- ② 高齢者のサポカー購入に市独自の助成を
- ③ 公共施設へ電気自動車充電設備の整備を



花川運動公園の急速充電設備



日本共産党浜松市議団  
北島 定

タブレット端末配備に向け教室内照度確保を

**質問** GIGAスクール構想で1人1台のタブレット型端末を配備

していくことに伴い、教室内の照度の確保など、適切な学習環境の整備が必要となるが、今後の対策はどうか。

**答弁** 学校環境衛生基準では、コンピュータを使用する教室などの照度は500～1000ルクス程度が望ましいとされており、タブレット型端末の配備に合わせ、300ルクスを下限値としていた普通教室などにおいても、基準に見合う適切な学習環境の整備が必要と考え

ている。

3年度にLEDへの交換に向けた照明器具の設置状況調査を予定していることから、今後はその結果を踏まえ、普通教室などの照度が基準に満たない学校を優先に、必要な施設整備を実施していく。

**その他の質問**

- ① 区再編で住民理解を得るための対策は
- ② スーパーシティでの個人情報保護対策は
- ③ 浜北区役所跡地利用は交通渋滞に配慮を



浜北区役所跡地

# 一般質問

3月11日、12日には、7人の議員が質問を行いました



山崎 とし子  
公明党

音楽団体主催の公演に映像配信技術の支援を

**質問** コロナ禍において、音楽団体がコンサートなどを開催する際に、映像配信技術を利用しやすきようサポートする考えはないか。

**答弁** ホールの利用者向けのインターネット環境は、現在アクロシティ浜松に整備されており、備品や持込み機材を用いることで映像配信を行うことができる。3年度には、一定規模の客席数を有する市民音楽ホールや浜北文化センターについても、演奏会の映像配信が可能なインターネット環境を整備していく。

また、利用に当たっては、会場使用料以外の追加料金を徴収しないことで施設利用者の支援を行うとともに、様々な音楽イベントがデュアルモードで行われていることを分かりやすく伝えるよう努めていく。

### その他の質問

- ① 子供相談窓口チャイルドラインと連携を
- ② ごみ減量推進に向けたさらなる啓発を
- ③ 新たな災害情報伝達手段と今後の運用は



浜北文化センター大ホール



井田 博康  
自由民主党浜松

校外適応指導教室に通う子供に学びの保障を

**質問** コロナ禍で、校外適応指導教室に通う児童・生徒は、復習はできるが次のステップに進みづらい状況にある。そこで、学びの保障をどのように果たしていく考えか。

**答弁** 校外適応指導教室では、児童・生徒が自主学習をしているが、個々の学びには支援員が寄り添い、学習内容の理解を深めるよう支援している。今後は1人1台のタブレット型端末の導入に伴い、主体的で無理のない学びが可能となり、在籍校とオンラインで結び環

境を整備することで、学校外からも授業参加が可能となる。このように、対面とオンラインを活用し、学校に通っている児童・生徒との学力格差を軽減し、個別最適化に向けた学びを保障していく。

### その他の質問

- ① 公共交通空白地に自家用有償旅客運送を
- ② ごみ屋敷などの対策のため条例整備を
- ③ 中山間地の森林を利用した新産業創出を



都市部の学校からの森林体験研修



稲葉 大輔  
自由民主党浜松

デジタル地域通貨導入の考えは

**質問** デジタル地域通貨は、市民生活の最適化や利便性に貢献し、デジタル化に対する市民の理解も深まるが、導入する考えはないか。

**答弁** デジタル地域通貨は、資金を地域内で循環させるキャッシュレス決済として注目されているが、地域独自の仕組みのため、導入経費などの課題がある。一方、元年7月に実施した既存のキャッシュレス決済サービスによるポイント還元事業は、導入経費が不要であり、既に広く浸透していたことで効率的に実施す

ることができた。こうしたことから、今後はマイナポイント事業との連携など、既存のキャッシュレス決済サービスを地域限定で活用することや、自治体ポイントの付与など、拡張性のある仕組みを研究していく。

### その他の質問

- ① 断らない相談支援体制に向けた考えは
- ② 積極的な健康経営に向けた取組方針は
- ③ 子供の貧困対策事業にC Fの活用を



子供の貧困対策を目的とした学習支援

※ C F…クラウドファンディング





馬塚 彩矢香  
市民サポート浜松

希少種の繁殖地保護のため周知や立入規制を

**質問** 夏に飛来するコアジサシは、絶滅危惧Ⅱ類に指定され、国際的な保護が求められているが、繁殖密度の高いエリアを保護柵で囲うなどの考えはないか。

**答弁** コアジサシの繁殖地の保全については、舞阪海岸の一部を保護エリアとして、くいやロープ、啓発看板を設置し、繁殖期の立入りを禁止している。防潮堤工事により一時撤去していたが、工事完了に伴い3年3月までに再設置するよう県と協議を行っている。

繁殖地は、人による



コアジサシの親子

被害のほか、自然災害や天敵の影響も受けやすく、今後は保護団体協力のもと、繁殖の確認時には市ホームページや報道機関を利用して周知を図り、ひなの巣立ちまで見守ってもらえるよう注意喚起をし、保護に努める。

**その他の質問**

- ① 社会に率先して市が不妊治療休暇導入を積極的なプラスチック製容器削減施策を
- ② 資源物の回収に「ネット」の利用推進を



平野 岳子  
自由民主党浜松

各自治会のニーズに合ったデジタル化支援を

**質問** コロナ禍で急激にデジタル化が進む中、自治会活動におけるデジタル化についてどのように認識しているか。また、ニーズ調査を実施するなどの具体的な支援策の考えはどうか。

**答弁** ウィズコロナ時代の自治会活動において、オンラインによる会議などの開催は活動の継続に有効な方法である。また、デジタル化の推進は、若者や女性の参画の関口を広げることが期待されることから、重要かつ必須の取組と認識している。今後は、デジタル活



天竜材を活用し木質化した市役所ロビー

用講座を開催し、デジタル化が自治会活動の負担軽減につながることを広く伝えるとともに、自治会のデジタル化に対する興味やニーズを調査し、運営が円滑に進むよう、自治会連合会と協働で取り組んでいく。

**その他の質問**

- ① 本市経済の現状と今後の経済対策は
- ② 美術館の価値を高める取組を
- ③ 森林整備促進と天竜材の普及啓発を



須藤 京子  
自由民主党浜松

地域防災の担い手として女性参画推進を

**質問** 地域防災に関わる人材の確保と育成はどうか。また、女性の参画についての考えはどうか。

**答弁** 将来にわたり地域防災力を維持するためには、新たな人材確保が必要となることから、地域防災リーダー養成研修会の開催や、小・中学生対象に防災学習センターで体験学習などを行い、防災意識の向上に努めている。女性人材の確保については、防災学習センターの指定管理者と、女性リーダー養成講座や自主防災隊長との意

見交換会の開催について調整を進めている。さらに、自主防災隊への女性の参画を進めるため、各種研修会への参加を依頼するとともに、女性の視点に立った避難所運営の検討などを自主防災隊に引き続き依頼していく。

**その他の質問**

- ① 学校教育の場で正しい性知識の提供を
- ② 学校休業日にも放課後児童会の開設を
- ③ 働く女性の健康支援に職場理解の推進を



「職場で健康講座」のチラシ(抜粋)



太田 康隆  
自由民主党浜松

万葉文化の継承活動と  
地域計画との関連は

質問 浜北区の万葉の  
森公園では、市民によ

る万葉文化の継承が行  
われているが、同園及  
び同園での活動と、文  
化財保存活用地域計画  
で提示するまちづくり  
との関連はどうか。

答弁 万葉の森公園及  
び同園での活動は、古  
代の歴史や文化に関わ  
るといふ点において、  
文化財保存活用地域計  
画で提示する歴史・文  
化・自然を生かしたま  
ちづくりと接点がある  
と考えている。

計画では、文化財が  
広く地域振興に役立て  
られるよう、文化的的



万葉まつり 曲水の宴

価値に関する正確な情  
報を公開・提供するこ  
ととしている。本市で  
は、多くの古代遺跡が  
発掘調査され、古代史  
に係る研究が蓄積され  
ているため、これらを  
生かし、同園での展示  
や活動につながるよう  
情報提供に努めていく。

その他の質問

- ① 道路の修繕履歴の適  
切な管理を
- ② 道路位置指定に関す  
る課題の解決を
- ③ 契約終了後の西部清  
掃工場の運用方針は

用語解説

※1 スタートアップ (3、6 ページ)

「立ち上げ」や「起業」などの意味で使われるのが一般的であるが、ここでは、社会的な課題を解決するため、ベンチャー精神を持って革新的な製品開発やビジネスに挑戦する企業や、その概念のこと。

※2 いかもないか (6 ページ)

「元気にしているか」という意味の水窪地域の方言。水窪地域は、少子高齢化の急速な進展やコロナ禍に伴うイベント中止などにより交流人口が減少していることから、3年度から「課題解決事業「いかもないか事業」として、水窪出身者など地域を応援してくれる人たちとのつながりを強化していく。

※3 スーパーシティ (7 ページ)

地域の持つ社会的な課題を最先端のテクノロジーの活用と規制緩和によって解決しようという試みで、車の自動走行やキャッシュレス化、遠隔診療や教育など、革新的な暮らしやすさの実現が期待される。本市では、市民から意見を募集し、国のスーパーシティ型国家戦略特別区域の指定を目指している。

※4 CF (クラウドファンディング) (8 ページ)

群衆(クラウド)と資金調達(ファンディング)を組み合わせさせた造語。インターネットなどを通じて、不特定多数の人から資金を調達すること。

資産等の公開に係る  
報告書を公開します

3年4月に市議会議員から提出された「資産等補充報告書」、「所得等報告書」、「関連会社等報告書」を、6月30日から本庁市政情報室や各区役所の市政情報コーナーで公開します。

なお、平成29年から2年までに市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。

詳細は議会総務課へ  
☎053-457-2505

政務活動費収支報告書等  
の写しを閲覧できます

2年度の政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、6月30日から議会事務局で閲覧できます。また、同日から浜松市議会ホームページに掲載します。

なお、平成28年度から元年度までの書類の写しも、議会事務局で閲覧できます。

詳細は議会総務課へ  
☎053-457-2505

# 特別委員会の活動状況

2年度の活動状況を報告します

## 行財政改革・大都市制度調査特別委員会

### ◆区制度の検討

行政区再編協議の行程にのっとり協議を進めた結果、9月23日の委員会において、区の再編は必要と結論づけました。また、本件については、全議員が関わるべきとの結論に至ったことから、全員協議会で無記名投票を行った結果有効投票42票のうち、必要38票、不必要4票だったため、本市議会として区の再編は必要との結論となりました。

### ◆大都市共通の課題

政令指定都市が共同して行う国への要望活動について協議しました。

## 地方創生調査特別委員会

### ◆総合戦略

当局から、基本目標達成に向けて第2期からは関係人口の拡大を新たな視点の一つに掲げ推進するとの説明があり、委員からは、コロナ禍で地方回帰の機運が高まっているため、SDGsなどの取組を、スピード感を持って推進すべきとの意見がありました。

### ◆中山間地域の活性化

魅力的な地域づくり事例を確認するため、天竜・春野方面を視察し、今後の議論の活性化を図ることとしました。



天竜トライアルオフィスの視察

## 大型公共施設建設調査特別委員会

### ◆四ツ池公園スポーツ施設

当局から、他都市事例を参考に、陸上競技場の建設費、維持管理費などについて説明があったほか、大会開催時には観客を除き450台分の駐車場が必要であるとの説明がありました。このほか、参考として第1種陸上競技場を整備した場合のレイアウトが示された現在のスポーツエリアに、メインの公認陸上競技場とサブトラックを配置した上で、駐車場の確保が可能であることを確認しました。

### ◆新病院建設

また、市内の硬式野球場の機能・利用状況についても説明があり、協議の結果、市営球場に求める機能は、高校野球県大会以上が開催できる規模とすることを確認しました。

浜松医療センターの経営状況について報告がありました。

## 交通政策・大規模災害対策調査特別委員会

### ◆交通政策

当局から、総合交通計画の見直し及び地域公共交通網形成計画の策定について、公共交通ネットワークを基幹路線・準基幹路線・地区内交通の3つに区分し、都市計画マスタープランの示す拠点間を基幹的な公共交通で結ぶ線的なネットワークに見直すことなどの説明がありました。

### ◆大規模災害対策

当局から、新たな災害情報伝達手段であるデジタル同報無線戸別受信機の無償貸与について説明がありました。委員からは、戸別受信機設置後の試験放送はどのように行うのかとの質疑があり、当局からは、運用開始前にテスト電波の発信試験を実施し、運用開始後も定期的に放送を流すなどの試験を実施していくとの説明がありました。

## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

### ◆新型コロナウイルス感染症への対策

当局から、新型コロナウイルス感染症の状況及び対応などについて報告を受けるとともに、特別定額給付金やPCR検査、PayPayキャンペーン、安全・安心な飲食店認証制度、LINE身守りシステム、避難所でのコロナ対応、年末年始の医療体制など、各会派から出されたの質疑について説明を受けました。委員からは、インターネット環境がない人でも、必要に応じてコロナ対策に関する情報が得られるようにしてほしい、商品券の発行を検討してほしいなど、様々な意見が述べられました。

このほか、浜松医療センターにおいて、新型コロナウイルスについての講演を聴講し、感染症病棟を視察しました。

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2  
編集／浜松市議会事務局  
印刷／株式会社アプライズ

浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひ御覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>



民衆的<sup>こうげい</sup>工藝を意味する民藝という言葉を生み出した<sup>やなぎむねよし</sup>柳宗悦による座談会が、昭和2年1月に尾張町の中村精<sup>なかもらせい</sup>の別荘で行われ、浜松における民藝運動が始まった。中村は座談会の参加者の1人である内田六郎<sup>うちたるくろう</sup>とともに、柳を有玉<sup>たかばやしひょうえ</sup>の高林兵衛邸に案内し、古民家と和時計のコレクションを紹介した。和時計とは、昼と夜をそれぞれ6等分して時間を表す日本独自の時計であり、江戸時代に用いられていたが、明治5年に日本が1日24時間制を採用すると使用されなくなった。高林コレクションの一つである本作品は、釣鐘<sup>つりがね</sup>の中に文字盤と時間を知らせる仕掛けが施されている。高林と交流のあった<sup>ますたかし</sup>益田孝（三井財閥の重鎮）が、昭和4年の茶会で書院に飾った記録が残る。柳は「其時計のコレクションは正に天下一」と高く評価し、日本独自の科学的な研究に基づく工藝品の一つとして、民藝品に位置づけた。現在、国立科学博物館の常設展示室に展示されており、今回の浜松市美術館で開催される「遠州の民藝展」で里帰り展示を行う。

紙上美術館  
No.173

浜松市美術館 「遠州の民藝展」  
5月15日(土)から6月27日(日)まで開催



再生紙を使用しています

紙面に関するお問合せ  
浜松市議会事務局 調査法制課  
☎053-457-2513

〔5月〕  
11日 各常任委員会  
13日 議会運営委員会  
18日 議会運営委員会  
20日 本会議(5月定例会  
開会・議案上程)  
〔6月〕  
2日 議会運営委員会  
3日 本会議(代表質問)  
4日 本会議(一般質問)  
7日 本会議(一般質問)  
8日 各常任委員会  
15日 議会運営委員会  
16日 本会議(採決・5月  
定例会閉会)

今後の議会活動の予定